2015年
入試用

学校説明会レポート

ICHISHIN
市進

獨協中学校

日時	2014年5月27日（火）10時30分～12時00分
所在地	文京区
会場	５Ｆ　小講堂
対象	塾
出席者数	約40名
配付資料	2015年学校案内、2014年入試結果、2015年募集要項（予定）、説明会のお知らせ、過去問題、合同開催の学校フェスタチラシ、式次第など

説明会の概要

あいさつ　校長　渡辺先生　10：30～10：50

- 2013年に創立130周年を迎えました。獨協は３大学２中高を擁しており、獨協大学は本校の80周年記念事業として創設されました。
- この数年学校改革を進めており、現高３生がその第一期生にあたります。学校改革の柱は、カリキュラムの改訂と中３・高１に選抜クラスを設けたことです。
- 進学面では、難関大・最難関大を志望する傾向が強まっています。
- 人間形成の場としての取り組みでは環境教育を推進しており、ビオトープや屋上菜園などの設備があります。

2014年入試結果など　副校長　笠井先生　10：50～11：10

《2014年入試》

- 特徴としては、第２回の出願者が622名と多かったことです。第１～３回の合計は1427名で、これは過去３番目に多い人数となっています。出願者を減らしている入試が多くなっている他校からは順調でうらやましいと言われますが、2013年春の出願人数が少なかったことと考え合わせれば、隔年現象と言うことができます。本校は、以前は隔年現象が少ない学校でしたが、併願者が多くなったためか、隔年現象が表れるようになりました。そんな理由から、2015年は出願人数が減少するのではないかと予想し

ています。

●2014 年から、第２回・第3回の募集人数を変更しました。第１回の募集人数は同じですが、第2回を増やして第３回を減らし、2013 年 70 名・80 名・50 名→2014 年 70 名・90 名・40 名としました。理由は、昨今、2月3日までに合格を決めようという風潮があるためです。

●合格最低点について。第１回では、理科・社会が低く（理科 24 点、社会 20 点）、国語・算数が得意な受験生が多かったようです。第２回は、理科 37 点・社会 24 点と第１回より高くなっており、人数が多い入試でいろいろな生徒が集まるためか、得意不得意がない生徒が有利な入試でした。以上のことは、あくまでも結果から言えることで、例えば、第 1 回で国語・算数が得意な生徒を入学させようとした訳ではありません。本校としては、第１回から第３回の問題に出題傾向の違いはなく、難易度の差もつけていませんが、受験生側の問題との相性や、分野によっての出来不出来が点数の差に表れていると考えています。標準偏差は、第１回が国語 10.3・算数 20.7・社会 7.8・理科 7.8、第２回が国語 11.1・算数 21.2・社会 9.7・理科 9.9、第３回が国語 12.8・算数 18.8・社会 10.3・理科 7.0 でした。

●想定外だったのは、本郷が１日に、成城が５日に参入したことです。本校の受験生が減少すると予想しましたが、実際はそれほどでもなく、まずまずというところでした。本郷との併願が増え、本郷の押さえになっているのではないかと判断しています。本校と成城との出願では、各受験生が迷ったようで、成城との併願は減少しました。校風が違うにもかかわらず、偏差値で学校選びをしているようです。教育方針などは入学後の生活に大きく関わる事柄です。本校としてはやはり校風重視で選んでほしいです

●2014 年の第２回は募集人数を 90 名に増やしたので、出願が増加しました。では第１回が減ったかと言えば、それもなく、結果として第１回・第２回とも出願者が増加しました。正規合格も多く出し、受験生の期待に応えることができました。

●１日の第１回は、113 名の正規合格者に対して入学者が 78 名で、これまでで最も高い手続き率となりました。第一志望が多かったためと思われます。２日の第 2 回は、併願が多いので歩留まりが下がる傾向がありますが、2014 年は、実はもっと下がると予想していました。５日の第 3 回は募集人数を減らしたため高倍率の入試となりました。入学者は 44 名で、ほぼ募集人数通りとなりました。

●複数回受験のメリットは、ボーダーラインでの優先繰り上げです。2014 年春は、該当者が 10 名弱いました。確実に有利であると言えます。

《合格実績》

●獨協大学への入学は年々減ってきています。

●難関私大の合格が多くない理由としては、①１学年の人数が少ない学校であること、①医学部を志望する生徒は GMARCH などを受験しないこと、があります。

獨協の教育と 2015 年入試

入試室室長　坂東先生　11：10～12：00

《獨協の教育》

- クラス編成は、中１・中２は均等分けの５クラス、中３・高１では選抜クラスを設けています。高２で文系・理系に分かれます。現在の高２生は文系が 70 名で２クラス、理系が 130 名で４クラスとなっており、それぞれに１クラスずつの選抜クラスがあります。高３では各自の希望によりコース別に分かれます。
- 男の子は自己管理が苦手な面があるので、本校では「獨協手帳」を導入しています。各自が学習計画を立て、スケジュールに沿って計画的に学習を進めています。
- クラブ活動はほとんどが中高合同で、サッカーと野球だけは別の活動となっています。中学生が高校生に教えてもらえるという良さはもちろんのこと、教える側もよくわかっていなければ教えられないので、高校生にとってもメリットがあります。
- 国際理解教育では、中３のブリティッシュヒルズ研修、ドイツスタディツアー、シアトルホームステイなどがあり、2013 年からは修学旅行でハワイを訪れています。

《2015 年入試》

- 【変更点】　中学入試→（なし）
- 複数回受験者はボーダーでの優先繰り上げがあります。繰り上げ合格者のすべてを優先繰り上げの生徒が占めるという年もあります。
- 説明会にぜひ足を運んでください。12 月 21 日の直前説明会では、入試問題の解説を行う予定です。

説明会の雰囲気・印象

- 資料渡しや会場案内が手際よく行われていました。2015 年の入試には変更の予定がないということで、全体的に穏やかな雰囲気の説明会でした。

学校周辺の環境

- 護国寺駅からはしばらくビル街を抜ける坂道が続き、学校周辺は閑静な住宅街となっています。近くに東京カテドラル聖マリア大聖堂や椿山荘があります。

交通

- 東京メトロ有楽町線 護国寺駅から徒歩８分
  東京メトロ有楽町線 江戸川橋駅から徒歩 10 分
  東京メトロ副都心線 雑司ヶ谷駅から徒歩 16 分